

お客様に寄り添う。

コロナ禍で住まい手の意識は、 どう変化したか？



新型コロナウイルスの流行で新しい生活様式が浸透していくと同時に、人々の住まいへの考え方にも変化が起きています。住まいづくりに携わる者として、世情の変化に応じた情報収集を行うことも、お客様に寄り添うことに含まれます。今号では、コロナ禍で変化した、人々の住まいへの考え方について、調査会社が行った結果をご紹介します。

栲徳スタッフが選ぶ「私が好きな埼玉県のお薦めスポット」VoL 036

「体力をつけて、夏を乗り切ろう」編

今年は6月から真夏日となった日があり、暑さが年々厳しくなっていると感じます。

そんな時こそ、美味しく・楽しく体力をつけ、夏を乗り切りたいですね。

お出かけの際には、事前にHP等で最新情報をチェックしてくださいね！

物流チーム
大島 克之



鰻 むさし乃

埼玉県さいたま市浦和区東高砂町 8-3 関長マンション 1F

浦和はうなぎの蒲焼発祥の地と言われ、多くの老舗うなぎ店が軒を連ねています。中でも私のおすすめは、ランキング1位の常連であるこちらのお店です。店内も広く、一人でも入りやすいところがおすすめのポイントです。(浦和レッスンの選手も来るとい噂!?) 身はふっくら、脂ののったうなぎを食べて、夏バテを防止しましょう！



グランデックス長瀬ベース

埼玉県秩父郡長瀬町井戸 511-1

長瀬と言えばラフティングスポットが多いですが、こちらでは「SUP (サップ・スタンドアップパドルボード)」を体験することができます。SUPとは、大きめのサーフボードのような板とパドルを使用して水面を進むアクティビティです。広大な湖を水上散歩するレイク SUP、渓谷のなかを下るリバー SUP、通常よりも大きいサイズのSUPで川を下るモンスター SUP など、様々なSUPがあります。

栲徳は創業明治38年、木と共に1世紀

経営理念・より良い住環境をつくり手と共に住まい手へ…

人々の暮らしの中で木は常に人と密接した存在として必要不可欠なものです。目には見えない様々な場所で形を変え、人々の暮らしを支えています。家も木が形を変え、生活に密着しているもののひとつです。寝食を共にする家族の中で共有する最も身近な存在といえるでしょう。私たちは木を通じて、より良い環境を目指して前進する皆様を全力で応援することに日々精進を怠らず皆様と共に歩み続けます。



■会社名の由来

創業者初代星野徳次郎が浦和にあった栲屋という材木商で修行した後、大宮で店を出すにあたって、修行した店の屋号と本名の一字を合わせて「栲徳」としたものです。



www.masutoku.jp

■本社

〒330-0804 埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-697

TEL:048(658)5600 FAX:048(658)5605 e-mail:masutoku@masutoku.jp

■大宮営業所

〒330-0804 埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-697

TEL:048(658)5600 FAX:048(658)5605

■伊奈配送センター

〒362-0811 埼玉県北足立郡伊奈町西小針6-127

TEL:048(729)2000 FAX:048(729)2001

特集

お客様に寄り添う。

コロナ禍で住まい手の意識は、 どう変化したか？

生活様式の変化と 住まい手の意識変化

新型コロナウイルスの流行で生活様式が変化しつつあるのと同時に、住まいへの考え方も変化が起きています。新しい生活様式の中で、特に働き方（テレワーク等）を浸透させる上では、自宅のあり方や重視する要素が変わってきます。

そこで今号は、コロナ禍で人々の意識はどう変化したか、見ていきます。

意識・実態調査結果

コロナ禍によって住まい手の意識や実態の様々な変化を、種類別にまとめました。

■テレワークに際する不満

「オンオフの切り替えがしにくい」が35%で最多となり、続いて「仕事専用スペースがない」「モニターやプリンターなどの備品が十分ではない」「ネット環境が悪い」「育児と両立可能な環境がない」などが挙げられました。

■住み替え・建て替えの実態

全体の7割強が様子見の傾向であることが分かりました。一方で「中止」は6.7%程度にとどまっており、時期は後ろ倒しになっても住み替え・建て替え自体を中止する方は少ない傾向が見られました。中止した方の理由は、新型コロナウイルス関連が8割強を占めました。

■住居形態に対する魅力変化

住宅購入検討者の半数以上が、自由度の高い「戸建て」に注目していることが分かりました。この結果は、在宅時間が長くなったことで、多様なニーズが求められるようになり、レイアウトや設備など自分好みにできる戸建てが魅力的だと感じるようになってきていると考えられます。ウイズコロナにおける戸建ての魅力は、多様化するライフスタイルへの対応力にあるようです。

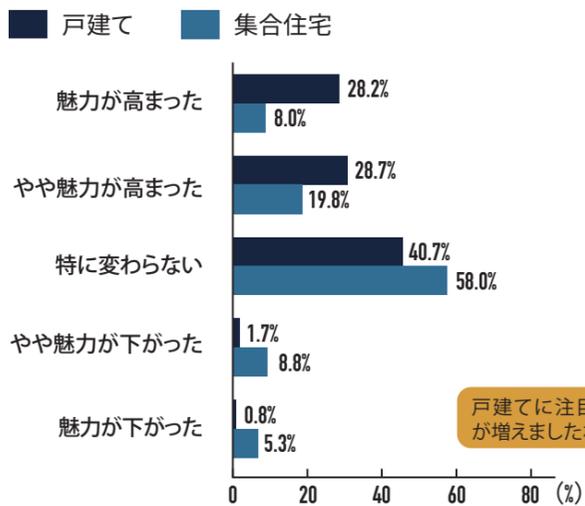
お客様に寄り添うために

新型コロナウイルス流行を機に拡大したテレワークは、働き方だけではなく住まいに対する考え方も影響を与えたことが分かりました。今後は、テレワーク前提で、住環境の良さを優先した住まいづくりがポイントとなります。

時代の変化やニーズに対応した情報収集をすることは、お客様に寄り添うことの一つです。

住居形態に対する魅力変化

出典：PRタイムズ



結果詳細は、QRコードから！

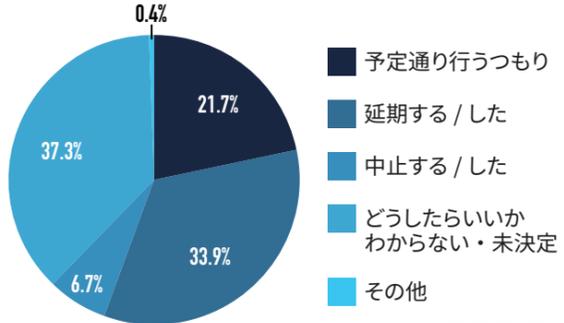


戸建てに注目する方が増えましたね！



住み替え・建て替えの実態

出典：PRタイムズ



結果詳細は、QRコードから！

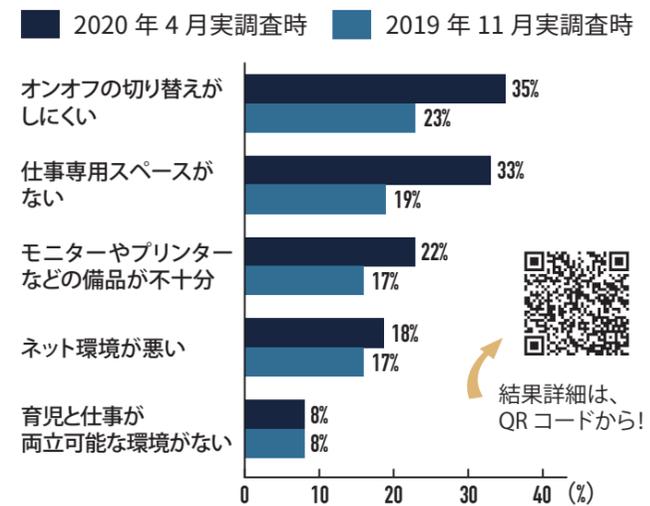


中止した方の理由は、新型コロナウイルス関連が8割強を占めました。



テレワークに際する不満

出典：リクルート住まいカンパニー



結果詳細は、QRコードから！



編集後記

今後の住まいについては、テレワークを前提とした住まいづくり、レイアウトや設備など自分好みにできる戸建てなど、家で過ごす時間を今まで以上に充実させることがポイントとなってきそうですね。

樹徳は今後も情報を収集し、家の作り手である工務店様をサポートするべく、適切な情報をお届けしていきたいと考えています。

横森雅子



東京新宿木材 埼玉センター 河合さん



展示即売会の様子

東京新宿木材 河合さんより
今の時期、免疫力をつけたい方は多いと思います。作用の仕組みはまだ不明ですが、ヒノキの匂い成分が、ストレスを軽減し、ヒトの免疫細胞の働きを上昇させたとの報告があります。今後そういった事が詳しく研究され、実証されると、木材や木造建築物を、より自信を持ってお勧めできますね。
弊社では品薄状態に備え、情報交換はもちろん各商社からの仕入れは偏らないようにし、特に常時扱っている商品に関しては、欠品がないようにしています。
昨今の建築業界の厳しい状況においても、お客様に喜んで頂くために、工務店様、樹徳さん、弊社の「3密」で、共に成長し続けていきたいと思います。

富張が建材市に行きました！



6月19日、東京新宿木材市場(株)埼玉センターにて開催された「展示即売会」と呼ばれる市に行ってきました。
こちらの市では、築地の魚のように、オークション形式で木材や建材を落札していきます。
樹徳も頻りに市へ出向き、新宿木材さんと直接お会いし、コミュニケーションを重ねることで、建材市場の最新情報入手しながら安定供給を図っています。
そして今回は、樹徳と協業している東京新宿木材の河合さんよりメッセージを頂戴いたしましたので、ご紹介いたします。

日本の建築家は、テレワークが浸透していくと、通勤時間よりも環境の良さや家の広さが求められるようになるのでは、と話します。そうすると、都心よりも郊外を選ぶ人が増え、地価も変化するかもしれません。
海外の建築家は、多機能性と可変性が大事だと話します。仕事も運動も家の中で行うには、多機能スペースや、時間帯に応じて再構成可能な部屋を設けるなど、テレワークに対応した多様なスペースが登場すると思います。

外国の建築家の考えは下記より！



日本の建築家の考えは下記より！



日本の建築家と外国の建築家が考える、今後の住まいのあり方。



広報企画チーム 横森 雅子

ここ数か月の休日は、断捨離、DIYでコンポストづくり、サブスクでの映画鑑賞など、おうち時間を充実させています。つい最近では梅シロップを仕込んだり、おやつを手づくりしたりと、料理をしては食べることも楽しんでいます。